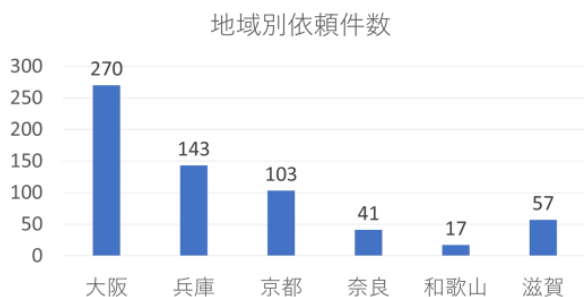


近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況

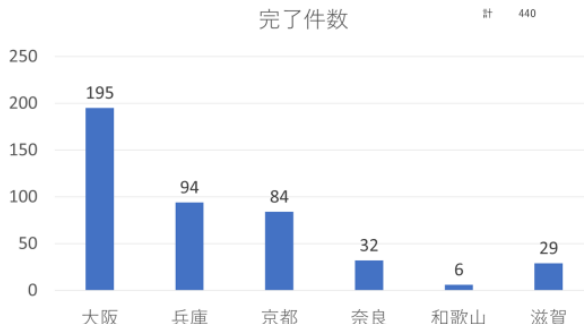
研究分担者： 大阪大学大学院医学系研究科 望月秀樹

2015年度以降の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況(依頼状況)



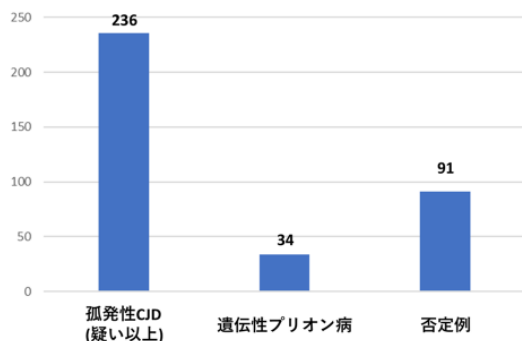
各府県調査依頼状況(計631件)

2015年度以降の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況(調査済み)

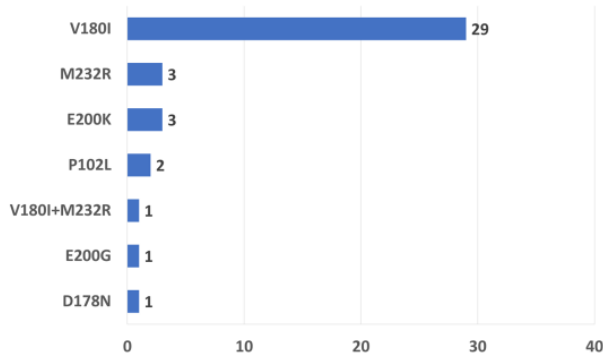


各府県調査済み状況(計440件)

累計の診断内訳



遺伝性プリオン病の内訳



解 説

1. 2015年以降、近畿ブロックでは計631例分の調査依頼があった。
2. 631例中440例(70%)から調査結果の回答を得た。
3. 440例中 361例 (82%)は診断済みで孤発性CJD 236例、遺伝性CJD34例、否定例 91例であった。
4. 遺伝性プリオン病ではV180Iが29例と最多であった。